

問1 1858年に日本がアメリカ合衆国と結んだ日米修好通商条約には、日本にとって不利な不平等条約といわれる内容が含まれていました。そのうち、輸入品にかかる税の割合を日本が自らの判断で決定することができない権利の状態を何といいますか。

(2020年 新潟県公立入試 類似)

1. 関税自主権の欠如 2. 領事裁判権の承認 3. 租借地の割譲 4. 片務的最恵国待遇の付与

問2 幕末から明治維新にかけての歴史的出来事のうち、日米修好通商条約が締結された1858年より後であり、かつ薩英戦争の原因となった生麦事件（1862年）よりも前に起こった出来事として適切なものを選びなさい。

(2024年 山形公立入試 類似)

1. 大老の井伊直弼が暗殺された桜田門外の変 2. 渡辺崋山らが弾圧された蚕社の獄 3. 徳川慶喜が政権を朝廷に返した大政奉還 4. 諸藩の土地と人民を天皇に返還させた版籍奉還

問3 19世紀半ば、イギリスから清（中国）へ大量のアヘンが密輸出されていたことを発端として、清がアヘンの取り締まりを強化したことで発生した戦争は何か、次の中から選びなさい。

(2026年 栃木公立入試 類似)

1. アヘン戦争 2. 義和団事件 3. 日清戦争 4. 太平天国の乱

問4 幕末の対外関係において、清がアヘン戦争で強大な軍事力を持つイギリスに敗れたという情報を得た江戸幕府が、その直後に取った対応として適切な説明はどれですか。

(2022年 山形公立入試 類似)

1. 異国船打払令を緩和し、遭難した船に燃料や食料を与える薪水給与令を出した 2. 鎖国体制をさらに強化し、近づく外国船を一切の警告なしに攻撃し続けた 3. イギリスの進出を阻むため、ロシアと秘密裏に軍事同盟を結んだ 4. 長崎以外のすべての港を直ちに開港し、イギリスとの自由貿易を開始した

問5 1842年に江戸幕府が対外政策を転換し、日本に接近する外国船に対して薪や水を与えることを認める方針をとった背景について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。

(2017年 長野県公立入試 類似)

1. アヘン戦争でイギリスが清を破ったことを知り、武力で外国船を追い払うことの危険性を認識したため。 2. ペリー率いるアメリカ艦隊が浦賀に来航し、武力を背景に開国を迫ったため。 3. ロシアの使節であるラクスマンが根室に来航し、通商を求めて幕府に圧力をかけたため。 4. 国内で「慎機論」を著した渡辺崋山らが、幕府の鎖国政策を強く支持したため。

問6 大政奉還に関連する人物や組織について述べた文として、正しいものはどれですか。

(2021年 愛媛公立入試 類似)

1. 第15代将軍の徳川慶喜が、土佐藩の提案を受けて政権の返上を決断した。 2. 薩摩藩の西郷隆盛が、徳川慶喜に対して政権を朝廷に返すよう強く勧告した。 3. 明治天皇が、幕府の廃止と天皇中心の新政府樹立を慶喜に直接命じた。 4. 岩倉具視が、徳川慶喜に対して領地をすべて返上するよう大政奉還の場で求めた。

問7 19世紀後半、日本の美術が西洋の芸術家に大きな影響を与え、日本文化への関心が急速に高まった現象を「ジャポニスム」と呼ぶ。この現象において、ゴッホやモネといった西洋の画家に多大な影響を与えた、日本の浮世絵師の名前として適切なものはどれか。

(2026年 群馬公立入試 類似)

1. 葛飾北斎 2. 横山大観 3. 雪舟 4. 歌川広重（安藤広重）ではなく、明治以降に活躍した人物

問8 1858年に、江戸幕府の大老である井伊直弼がアメリカの総領事ハリスとの間で調印した条約について、その内容を正しく説明したものはどれですか。なお、この条約は19世紀中頃から日本の外交史において大きな転換点となったものです。

(2025年 島根公立入試 類似)

1. 領事裁判権を認め、日本側に税自主権がないという、日本にとって不利な内容を含む不平等条約である。 2. 下田・函館の2港を開港し、アメリカ船に薪水や食料を供給することを約束した平和的な友好条約である。 3. 日清戦争の結果として結ばれ、朝鮮の独立を認めるとともに遼東半島を割譲させる内容である。 4. 日露戦争の講和条約であり、アメリカの仲介によってポーツマスで結ばれた条約である。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 関税自主権の欠如	日米修好通商条約では、日本に輸入される商品の関税率を日本が自主的に決めることができず、アメリカ側との協議で決めるという取り決めがなされました。これを関税自主権の欠如と呼びます。このため、安価な外国製品が大量に流入した際に高い税をかけて国内産業を守ることができず、当時の日本の産業は大きな打撃を受けることとなりました。
問2	答え 1 大老の井伊直弼が暗殺された桜田門外の変	桜田門外の変は1860年に発生しました。選択肢にある蚕社の獄は1839年、大政奉還は1867年、版籍奉還は明治維新後の1869年の出来事です。条約締結後の政局の混乱の中で起きた事件であることを時系列で把握しておく必要があります。
問3	答え 1 アヘン戦争	イギリスは自国の貿易赤字を解消するために、植民地のインドで生産させたアヘンを清へ密輸していました。清が国民の健康被害や銀の流出を防ぐためにこのアヘンを厳しく没収・処分したことで、イギリスが軍艦を派遣し、武力衝突に発展しました。
問4	答え 1 異国船打払令を緩和し、遭難した船に燃料や食料を与える薪水給与令を出した	イギリスがアヘン戦争で清に勝利した事実は、当時の幕府にとって大きな脅威となりました。強力な軍事力を持つ西洋諸国との不用意な衝突を避けるため、幕府は1825年から続けていた異国船打払令を緩和、1842年に「薪水給与令」を制定しました。これにより、日本近海に現れた外国船に対して、燃料（薪）や水、食料を補給して穏やかに退去させる方針へと転換しました。
問5	答え 1 アヘン戦争でイギリスが清を破ったことを知り、武力で外国船を追い払うことの危険性を認識したため。	江戸幕府は1825年の「異国船打払令」によって外国船を武力で排除する方針をとっていましたが、1840年に始まったアヘン戦争での清の敗北は、その方針を揺るがす出来事でした。イギリスの強大な軍事力を知った幕府は、無謀な武力衝突が日本に危機を招くと判断し、人道的な支援を与えて帰す「天保の薪水給与令」へと政策を切り替えました。これは、当時の国際情勢を反映した現実的な対応への転換といえます。
問6	答え 1 第15代将軍の徳川慶喜が、土佐藩の提案を受けて政権の返上を決断した。	大政奉還を実現させた中心人物は第15代将軍の徳川慶喜であり、そのきっかけとなったのは土佐藩による建白（提案）でした。これに対し、薩摩藩や長州藩などの倒幕派は、大政奉還後も徳川家の影響力が残ることを嫌い、のちに「王政復古の大号令」を出して幕府の廃止を宣言することになります。
問7	答え 1 葛飾北斎	19世紀のヨーロッパでは、万国博覧会などを通じて日本の浮世絵が紹介され、大胆な構図や色彩が西洋の画家に衝撃を与えました。特に葛飾北斎の作品は高く評価され、印象派の画家たちの作風に強く反映されました。横山大観は明治時代から昭和にかけて活躍した日本画家であり、この時期のジャポニスムの源流とは異なります。
問8	答え 1 領事裁判権を認め、日本側に関税自主権がないという、日本にとって不利な内容を含む不平等条約である。	1858年に結ばれた日米修好通商条約は、外国人が日本国内で犯した罪をその国の領事が裁く「領事裁判権（治外法権）」を認め、日本が輸入品にかかる税率を自ら決定できない「関税自主権の欠如」という2つの大きな問題を抱えていました。これらは日本側の主権を制限する不平等な内容であり、その後の明治政府にとって条約改正が長年の外交課題となりました。選択肢にある薪水の供給は1854年の日米和親条約の内容です。